

地域や人のつながりが弱くなっている昨今。
一方で地域での支え合いや新たな仲間づくりに
力を尽くしている人たちがいます。
ここでは、その人たちに活動の現状や思いについてインタビュー。
これを機に、つながりの大切さをいま一度考えてみませんか。

このページに関するお問い合わせは、産業振興課 ☎211-2372



絵本の読み聞かせ会の様子。月1回程度、講演会や体験講座などを催し、お客さんや子ども同士が交流を深める後押しをしている。

つながりを つむ 紡いで

Vol. 3

地域カフェ運営者 熱い思いを持った 地域の”にぎわい創造人“



発寒北商店街
振興組理事長
土屋 日出男さん

地域住民が集うカフェ
「ハツキタ茶屋ぎんなん
通り」の立ち上げ・運営
に尽力。地域のにぎわ
いづくりのために幅広く
活動する。呉服・フォト
スタジオ経営。60歳。

「地域のにぎわいづくりに
携わるようになったきっかけは？」

私の住む発寒北商店街には、
かつて100店を超える商店があ
りました。このままでは地域が
崩壊してしまう。そうした危
機感から、住民や企業、学校
と一緒に、地域を盛り上げた
いと思うようになりました。
「そうした活動の一つとして、
カフェを開店したのです。」

はい。地域の方と接する中
で、住民同士で話せる場所が
少ないことに気付きました。
そこで、人々が気軽に集まり、
食事と会話が楽しめる「コミ
ュニティカフェ」があれば、
より地域がにぎわうと考えた
のです。昨年、市の補助を受

コミュニティカフェ

食事・軽食が楽しめるだけでなく、イベン
トなどを通して、お客さん同士が交流を深
められるカフェです。ぜひ足を運んでみま
せんか。

今回紹介したコミュニティカフェ

「ハツキタ茶屋
ぎんなん通り」

住所 西区発寒12の3
☎215-8217

HP www.hatukita.com/info/tyaya.html

ハツキタ茶屋が利用した「商店街の空き店舗
を活用した交流拠点づくり」の補助制度につ
いては、産業振興課 ☎211-2372へ。



としての役割も担っています。
「苦労もあると思います。」

ええ。当初の想定よりお客
さんの数が少なくて…。会員
登録してくれた方に、イベン
ト情報や新メニューをメール
でお知らせする仕組みを作る
など工夫を重ねています。

「今後の展望は？」

私は、ここに住む子どもが
成長したとき「はつきた」が
札幌で一番住みやすい」と感
じられる地域にしたい。「ハ
ツキタ茶屋」はそれを実現す
る拠点になる可能性を秘めて
いると思います。自然に人が
集まり、何気ない会話からま
ちを良くするアイデアが生ま
れる。そんなカフェを目指し
たいですね。

市内のコミュニティカフェを掲載
した冊子も配布しています。
(ハツキタ茶屋は未掲載)→

配布場所 市役所13階
市民自治推進課

